

<前期考査に向けて>

前期考査は6月18日・19日、および6月22日・23日の4日間行われます。本校では、その2週間前に考査範囲と時間割が発表されています。計画的に学習をすすめましょう。

1年生の皆さんは、高校生活初めての定期考査です。中学校と比べて科目数が多くなり、テスト範囲も、かなり広がります。いわゆる一夜漬けでは、まったく対応することができません。苦手意識のある科目ほど早めに取り組み、分からない事は質問しましょう。

2年生の皆さんは、将来の職業を見据えて、志望の学部学科を基にした理系・文系のコースに分かれました。1年生の時以上に内容の深い科目を学んでいますから、詳細な知識や解法を習得することに心掛けましょう。

3年生の皆さんは、1、2年生が中期考査の時期に学年末考査となり、3年生のみ2回の定期考査です。当然、前期考査の比重が高くなります。これまで以上に真摯に取り組む必要があります。計画的に学習し、すべての教科・科目に全力を尽くしましょう。

なお、学業成績は、定期考査・課題考査・小テスト・提出物・実験・実習・実技などを基に総合的に評価されます。

また、定期考査の問題と問題集の問題とすべてまったく同じであることは、あり得ません。正確な知識と解法の習得ができる勉強方法で取り組んで下さい。大学入試を目標とした学習を行っていることを忘れないようにしましょう。

定期考査に向けて

教室掲示のプリントで、考査日程および考査範囲を確認してください。学年はもちろんのこと、同じ学年でも理系文系により、考査範囲が異なる場合があります。

考査の前日までに、机の中を空(カラ)にするなどの準備をしてください。

自習室について 地歴公民教室(南舎2階)

※補習実施日は補習終了後使用可

①放課後の自習室について

本校では、放課後開放している自習室があります。各学年の当番の先生が施錠するまで利用することができます。不明な点は進路指導室の先生に聞いてください。

②3年生の土曜活用の自習室について

3年生は、土曜活用(土曜日の補習)の際にも、南舎学習室を自習室として開放する予定です。不明な点は、進路指導室の先生に聞いてください。

< 見通しをもって、日々の学習に取り組もう >

5月14日(木)に、3年生生徒対象に進路講演会を行われました。この講演の中で話題になったことは、1・2年生の皆さんにも関係する部分があいつかありましたが2つ紹介します。1つは、学習スタイル、もう1つは1・2年の学習と大学入試の関係です。下の図にあるように、1・2年生の皆さんが今教室で学んでいる内容が大学受験に直結します。「望ましい学習スタイル」を参考に、日々の学習に取り組んでください。

望ましい学習スタイル・学習観

- ・ 計画的な学習
- ・ 自立的な学習姿勢
- ・ 意味理解や思考過程を重視
- ・ 効果的な学習方法の追求
- ・ 分からなくても自分で考える
- ・ 自分の“行動”が全てと考える

授業、教科書から出題される割合

入試	出題割合
共通テスト	100%
個別学力試験	70~80%
私立大入試	70~80%

入試問題の出題構成

難易度	出題割合
基礎	40~50%
応用	20~30%
難問	20~30%

・ 入試は落とすためにある → 得点差のつく出題が必要
・ 基礎的な問題ほど差がつく → 難問では差がつかない
・ 教科書からの出題 → 最も得点差のつきやすい問題

⇒ 授業で習ったことを理解していけば入試にも対応できる

1.2年生範囲が全体の8割を占める

一番の近道は教科書・授業の内容を「**确实**」に理解する

「講演会のスライド資料」より一部抜粋

< 学びたいことを探してみよう >

意欲的に学び続けるためには、目標や夢をもつことが必要です。面談等で皆さんの話を聞いていると、勉強する理由で、「行きたい大学がある」「やりたい仕事がある」「こんな大人になりたい」が明確に語ることができる生徒が少ないように感じます。

時間を見つけて、今一度自分自身を見直してみてください。例えば、↓のようなサイトがあります。参考にしてください。

志望校合格に向けて

みらいぶっく

検索



自分を見つめなおす方法は、進路情報以外からでも得られます。テレビ・映画・本(漫画含む)など、自分が好んで見ているものがヒントになる場合もあります。